

「ウィザス」はウィズ・アス=with us
 “共に生きる—男女共生社会”
 の理念をあらわしています。

ウィザス

特集

芦屋市で、男女共同参画を 推進する条例を制定！

女性ニュース ● 『内閣府調査で妻の3割がDV被害経験』

この3月、内閣府男女共同参画局は「男女間における暴力に関する調査」結果を発表しました。女性に対する暴力についての確かな施策を実施し、社会の問題意識を高めるため、定期的・継続的な実態把握の調査を行うもので、「配偶者暴力防止法」に基づいて、今回が4回目の実施。平成20年度は無作為抽出された全国20歳以上の男女5000人を対象にアンケート調査されました。有効回答率は62.6%、3129人（女性1675人、男性1454人）が回答しています。

DV被害経験を聞いたところ、これまでに結婚したことのある人（女性1358人、男性1077人）のうち、女性の33.2%が「身体的暴力」「心理的攻撃」「性的強要」のDV行為を一つでも受けたことがあったと回答しています。

一方、男性の17.7%がDV行為をうけたことがあったと回答しています。

また、なんらかのDV被害行為を受けたことのある人（女性451人、男性191人）のうち、その行為によって「命の危険を感じた」ことがあると回答したのは女性の13.3%、男性の4.7%。「怪我をしたり、精神的に不調をきたしたことがある」と回答したのは、女性の34.8%、男性の14.1%でした。

男女間における暴力を防止するために必要なこととして、約7割の人が「身近な相談窓口を増やす」ことや「家庭での暴力防止教育」を、次いで「学校での暴力防止教育」「加害者への罰則強化」をあげています。



絵 A.S

平成21年度 男女共同参画週間記念事業

一時保育つき

映画 「西の魔女が死んだ」

ひとみんな幸せになれるようにできているんですよ



学校に行けなくなったまいは「西の魔女」と呼ばれるおばあちゃんとの暮らしのなかで毎日の楽しさを再発見していく
 100万部を超えるロングセラーの映画化。梨木香歩原作。
 出演：サチ・パークー 高橋真悠りょう 大森南朋 高橋克美
 (C)2008 「西の魔女が死んだ」製作委員会

- 日時：6月25日(木)午後2時～(開場：1時30分)
- 会場：ルナ・ホール ■入場料：無料(要整理券)
- 定員：先着650人
- 一時保育：2歳以上就学前の幼児20人。1人300円
- 申込：往復ハガキまたは窓口で①住所②氏名③電話番号④参加希望者名・人数(1枚で2名まで)を明記のうえ、6月18日(木)までに下記へ。
- 宛先：〒659-0092 芦屋市大原町2-6ラ・モール芦屋 芦屋市男女共同参画センター「映画係」

芦屋市男女共同参画センター事業

一時保育つき

一時保育つき ～大人の読書タイム～

子育て真っ只中の皆さん、月に一回、ウィザスあしやで読書を楽しみませんか。お子さんは保育室でお預かりいたします。お手持ちの本や情報コーナーの図書や資料などご自由にお選びいただけます。



- 日時：毎月 第4月曜日 午前10時～12時 平成21年6月22日(月)
- 会場：芦屋市男女共同参画センター ウィザスあしや
- 対象：子育て中の親(祖父母も含む)と子ども(2歳から就学前の幼児)
- 保育定員：子ども8人 ■一時保育：1人につき300円
- 申込方法：毎月1日(休みのときは、翌開館日)から電話あるいは窓口で受付(先着順)。①住所②氏名③電話番号(ファクス番号も)④子どもの名前と生年月日。
- 申込先：芦屋市男女共同参画センター tel.0797-38-2023

女性相談 tel.0797-38-2022(予約電話)

「こんなことで…」と思わずに、まずは、お電話を！

専門の女性相談員がゆっくりとお話をうかがいます。1回50分間の相談時間を確保しています。気軽にお電話ください。

面接相談 無料 秘密厳守

相談	曜日	時間
女性の悩み相談	第1土曜日	①13:00
	第2～5金曜日	②14:00
暴力(DV)に関する相談	毎月第1・3水曜日	③15:00 各50分

センター展示あんない

6月 イラストでみる男女共同参画
 パネル なるほどジェンダー展
 パネル協力 財団法人 日本女性財団

日時 6月1日(月)～12日(金)(日曜をのぞく)
 9:00～17:30

会場 芦屋市男女共同参画センター ウィザスあしや

平成21年度 展示作品募集中!!

女性作者の作品発表の場を設けています。あなたのオリジナルの作品を発表してみませんか。展示希望の方は芦屋市男女共同参画センターまでお問い合わせください。

★展示期間 平成21年8月～10月、平成22年2月の各月1ヶ月間
 ★展示条件 女性作者による個展(グループ展は不可)
 ★使用料 無料(搬入・展示・搬出は各自)
 ★作品 絵画、写真、書道、版画など

平成21年度 編集委員 紹介

わたしたちが担当します!

- 村上 由起 毎日何気なく過ごしている中で、見逃してしまいがちな事柄に気付く感性を持ち、それをすくいあげる取材力を付けたいと思います。
- 瀬上 恵美 「星の王子さま」の日本語訳で「自分を飼いなす」の表現に苦心したと聞く。荒馬の私に鞭打って、今年大学院の聴講を始めた。
- 菅 朱美 最近、締切間近にならないと仕上げることが出来なくなりました。お尻に火が点く前に何とかせねばと焦っています。
- 上田 律子 編集委員になって、地域域の活動を身近に感じられるようになりました。多くの方に同様に感じ、生活に活用して頂きたいと思っています。
- 熊切 恵子 今期より編集委員になりました。子育て真っ最中、11月には出産を控えた主婦です。家族には20代前半の女性もおり、今の私の環境がよい形で反映できたらいなと思います。

ありがとうございます

3月8日のウィザスあしやフェスタ2009のバザーにご協力いただきありがとうございました。収益(154,291円)は全額DV被害者支援団体へ寄付いたしました。

芦屋市男女共同参画団体協議会

MAP

男女共同参画シンボルマークが決まりました

編集・発行：芦屋市男女共同参画センター
 芦屋市大原町2-6 ラ・モール芦屋2階
 TEL 0797-38-2023 FAX 0797-38-2175
 Eメール josei-ce@city.ashiya.hyogo.jp
 ホームページ http://www.city.ashiya.hyogo.jp/women/